

札幌組報



2024年03月31日

第62号

浄土真宗本願寺派北海道教区
札幌組実践運動委員会

事務局

札幌組 HP

<https://www.onishi.or.jp>

8年間をふりかえって 組長 石堂了正

2期8年間、札幌組組長を任期満了で退任することが出来ました。まずは組内44ヶ寺のご住職はじめ坊守様、寺族の皆様、そして門信徒の皆様にご心より御礼申し上げます。

過ぎてしまえば短くも感じますが、組長になる前の副委員長としての4年間を入れると12年間となり、僧侶としてとても充実した期間でありました。

この12年前、本山では宗本区分が行われ宗派と本願寺が新たな形態で始まり、その宗派では運動体が基幹運動から御同朋の社会をめざす運動（実践運動）に改革されました。

以来、それを学び理解する事から始まりましたが、いまだにじっくりこない部分も多く、宗務員の組長として職務の中で戸惑うこともよくありました。「宗本区分」「組長奥印」「都市開教」「伝道教化」「法要儀式」「賦課金制度」そして「領解文」...。時には執行部内で愚痴も聞いて頂き、組長会や教務所職員さんや所長さん、宗会議員さんとも議論しました。宗派の公聴会や本願寺にも意見を申し上げましたが、窓口までだったように思えます。

しかし、そこだけを注視してても、大切な組としての取り組みは、はかどりません。まずは北海道の札幌都市圏の寺院・僧侶として、札幌組の役割はとても大きな責任があると執行部で認識し共有しました。その上で私たちが今何をすべきなのか、何が出来るのか、地域社会との繋がりをどうしたらいいのか、執行部で考え、また皆さんと考え、議論を重ねてきました。そこで『後世に受け継ぐ基盤作り』をスローガンとして、組内寺院の融和を元に、あらゆる情報や社会の現状を整理し、一寺院では出来ないことを、僧侶・門徒問わず、学校や葬儀関係機関など、幅広く連携し結集されました。それがすばらしい力となって事業をなし得てこれたのではないかと思います。

8年前、執行部では初めての会議で、横湯副委員長から『これからは何が起きるかわからない時代、ぜひフットワークを軽くして、何に対してもすぐに対応出来る執行部にしましょう』と提案してくれました。その直後平成28年4月、熊本地震という大きな災害があり、今年1月の能登半島地震で任期が終わります。その間も札幌組内でも被害が出た胆振東部地震や日本各地や世界でも地震や豪雨などの災害が後を絶ちませんでした。そして世界的なコロナ感染症蔓延となり、その都度対応に追われてきました。

東日本大震災の原発事故により未曾有の被害を受けられた相馬組とのご縁を一層深く続けてきた事もあり、私の念願であった災害対策委員会を設置することが出来たことは、とても大きな成果だったと思います。いつもご相談にのっていただいた寺院問題検討委員会、そして災害対策委員会の皆様にご心より御礼申し上げます。



実践運動では各事業や新たな教化団体の誕生など、様々な成果を有縁の皆さんと笑顔で共有出来たことが、何よりも有り難く嬉しかったことです。特に常任委員の皆様には心より感謝申し上げます。そして昨年11月の親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年の法要と7月のイベント親鸞Summerでは、組内御寺院のお導きの中、若い力を中心に、後世に受け継ぐ素晴らしいご勝縁となりました。

コロナ禍といえ、出来得なかったことや反省すべき点も多く、組内皆様に不行き届きの点が多々あったと思います。組長として、また委員長として深くお詫び申し上げます。

最後になりますが、執行部として8年間共に尽力頂いた横湯氏、久朗津氏、打本氏、松本氏、そして4年間ご尽力頂いた藤井氏に、心より御礼申し上げます。今後は横湯組長さんを中心に、これまで以上に北海道をリードする組となるよう、一僧侶として協力していきたいと思っております。ありがとうございます
合掌

※皆様となし得た8年間の主な軌跡を記してみました。ご参照ください。

札幌組8年間の軌跡 平成28(2016)年4月～令和6(2024)年3月

28年4月14日	熊本地震 支援と義援金
28年7月	ビハラー活動、札幌龍谷高校インターアクト部と慈啓会特養ホームを訪問
28年10月	東日本大震災7回忌法要を相馬組皆さんをご招待し札幌別院で厳修
28年11月	「札幌組門徒推進員連絡協議会」が結成
29年4月～	FMアップル ラジオ伝道 (毎週水曜午後9時～10時 ライブ放送)
29年5月	第17期れんげん 開始
29年6月	報恩講スタンプラリー開催 (25ヶ寺)
29年7月	教区Aブロック総代研修会 札幌組主幹 札幌パークホテル
29年10月～ 30年5月	第25代専如門主伝灯奉告法要 各寺で団参
29年10月	「大震災7回忌を終えての報告と今後の課題」相馬組副組長廣畑恵順師 追悼コンサート 二胡奏者姜曉艶さん
30年4月	第17期連研が終了 修了者28名 13名が門徒推進員に。
30年9月6日	胆振東部地震 組内寺院にも被害。胆振組などへ支援と義援金
30年12月	胆振東部地震復興支援～なむ茶カフェ・鶴川法城寺～
31年2月	「札幌組壮年会連盟」が結成 (5ヶ寺)
31年4月	組災害対策委員会設置 災害対策金庫に各寺院より毎年協力金3000円
元年6月	報恩講スタンプラリー開催 (26ヶ寺)
元年10月	第18期れんげん開催 コロナ禍の為2年2月で延期
2年1月	「ブディズムダンス布教大会」を開催(教区布教大会を札幌組が主幹) 500名を超える来場者～ダンスを通じ若者にご縁を～
2年2月	コロナウイルス感染症の蔓延 非常事態宣言へ 次亜塩素酸水を各寺院へ配布
2年11月	コロナ禍の中 オンラインで組内寺院を結び、研修会を初めて開催
2年12月	『提言書』を各寺院へ コロナ感染拡大に伴い寺院運営・布教伝道・教化活動そして葬儀執行について 札幌組内地域の全葬儀社へ『葬儀・法要における確認と共通認識について』
3年8月	札幌組内地域の全葬儀社へ『葬儀・法要における確認と共通認識について』
3年11月	ファシリテーション研修会 会議の進行の充実と成果を(2回開催)
4年2月	ロシアによるウクライナ軍事侵攻始まる
4年7月	組親鸞聖人御誕生850年準備委員会 札幌龍谷高校生徒や若手僧侶に意見を聞く 組親鸞聖人御誕生850年準備委員会 会議続く
5年2月	相馬組主催大震災13回忌法要に出動8名。現地視察
5年3月～5月	親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要・組団参・各寺で団参
5年5月	コロナウイルス感染症が2類から5類に
5年5月	お供物落雁ワークショップを開催
5年7月	『お寺DEフェスタ! しらん Summer』を札幌別院にて開催 1000人以上来寺 親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年イベントとしてお寺にふれあう体験
5年8月～11月	「新制御大典作法」6回の連続研修会
5年11月	第18期れんげん再開 新たに募集して1回目より開始
5年11月	親鸞聖人御誕生850年立教開宗800年慶讃法要・帰敬式 於札幌別院本堂 導師に名誉侍真近松照俊師 講師に清岡隆文師 来賓に相馬組組長 副組長 坊守様
6年1月1日	令和6年能登半島地震 支援と義援金
6年3月	葬儀に関するリーフレット作成

非常用備蓄品

各ブロックへ 非常用発電機1台・ガソリン用携行缶20ℓ 設置
各寺院へ給水ポリタンク20ℓ×2個配布
発電機、蓄電池を購入寺院へ助成(2023年度)

研修部 お供物らくがんワークショップ

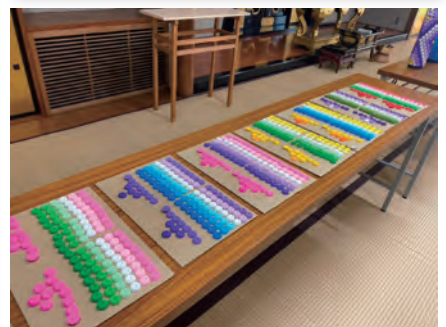
令和5年5月23日（火）午後1時より、札幌別院を会場に遠く福岡県より「楽心堂本舗」の皆さんにお越し頂き、お仏前にお供えする「らくがん」のワークショップを開催しました。

寺族婦人会の協賛もあり25名ほどの参加を頂き、小学生のお孫さんと参加、ご門徒と参加と幅広い世代で「見せるらくがん」作りに挑戦。始めは接着剤の「のり」と格闘しながら眉をひそめ悪戦苦闘していましたが、講師の方々のアドバイスと手直しで段々とコツをつかみキレイな「見せるらくがん」を完成させていきました。

温かみのある優しく、キレイな色合いのグラデーションに参加者の顔も自然と朗らかになっていきました。

後半は楽心堂のみなさんを囲み茶話会をしながら、楽心堂さんがこのお仕事をするきっかけや、お寺に対する思い・熱意をお聞かせ頂き唯意義な研修会となりました。質問コーナーでは一番人気の商品は？お内陣に映える色は？と興味津々でした。ちなみに「映え色」はピンクとグリーンだそうです。

今後もこのような年代や立場を超えた研修会が開催できると参加者も増えていけるのでは！と思える研修会でした。



社会部 樺太アイヌ墓前法要

令和5年6月17日、今年で44回目を迎える移住殉難者（樺太アイヌ）墓前法要、講演会が江別市で開催されました。社会部としては、主催ではなく、協賛という形で組内ご寺院へご案内をさせていただきました。

江別市営墓地にて追悼法要をお勤めし、その後、江別市真願寺様にて講演会を開催いたしました。アイヌ民族文化研究センター長である、小川正人氏より、「樺太から対雁までの移住を考える」と題してご講演いただいたことでもあります。アイヌ民族の高齢化に伴い、差別の歴史や伝承が失われつつある今において非常に意義深い講演でありました。



総代会 総会・研修会開催

令和5年8月28日（月）16時～17時40分まで、本願寺札幌別院において、門徒総代21名のご参加をいただき、札幌組総代会 総会並びに研修会を開催しました。総会にて役員改選を行いました。これまでの役員さんのご苦勞に感謝し、新しく引き受けていただいた役員さんへの引き継ぎを行いました。

総会のあと、ご講師に札幌組組長 真願寺 ご住職 石堂 了正氏より、「お寺にとって総代さんとは？」をテーマに研修会を開催しました。

総代として仏法のみ教えを心の拠り所としながら、家族や周りの方へ伝える、そして次世代にどのようにお寺とご縁をもって広めていけるか、総代の皆さまとご一緒に考えさせていただく大変有意義な総会・研修会でした。



壮年部 定期総会・研修会開催

札幌組仏教壮年会連盟の活動として最初にご報告申し上げますのが、令和5年6月25日に福住寺仏教壮年会主管にて福住寺様を会場に令和5年度定期総会と研修会を開催しました。研修会には61名のご参加をいただきました。講師は第一東京弁護士会登録弁護士の中田裕規氏にお越しいただき「終活を考える～相続で家族に負担をかけない方法」を講題にご講演をいただきましたが、参加者は年齢的に身近なテーマだったようで熱心に聞き入る様子が見られました。又、定期総会はここ数年、コロナの影響もあり書面決議やオンライン等集合を避け開催してきましたが、コロナ感染症に対する行動規制が緩和されたのを機に数年ぶりに多くの仏壮会会員の出席の中、活きたご意見を頂けたことは大変有意義でした。その後、会場を中央区のアサヒビール園羊々亭に移し懇親会を開催しました。全員で乾杯の後お寺の垣根を取り払い会員相互が杯を傾け、各仏壮会の活動発表を聞きながら盛会のうちに全日程終了となりました。前後しますが、4月に本願寺で開催された第24回全国仏教壮年大会の参加者に対し参加助成を行い活動のひとつとしました。又、各仏壮会の多大なるご協力により本年3月には「札壮便り第3号」を発行し組内の仏教壮年会の紹介をさせていただきました。喜ばしいことにここ数年で組内に新たに4団体の仏教壮年会が組織されましたが、時を合わせるように結成とほぼ同時にコロナ禍に見舞われたことと思いますが、その禍中において試行錯誤しながら活動を展開されていることに敬意を表すとともに、今後新たな仏教壮年会が誕生し朋友の輪が広がることにご期待申し上げます。



社会部・連研部合同研修会

令和5年11月16日、本願寺札幌別院にて連研部・社会部合同研修会を実施いたしました。コロナ禍により寺院の取り巻く現状が大きく変わった状況において、寺院の果たす役割を考える研修会として企画したものです。そのため、対象を寺院僧侶のみならず、坊守や門徒推進員などと対象範囲を広げ実施いたしました。講師には東海教区額田組明願寺の松野尾慈音氏をお招きし、「家の宗教から個の宗教へ～これからのお寺のあり方」と題してご講演をいただきました。檀家制度という「家の宗教」がコロナ禍によって大きく変容し、その価値が失われている現状をお示しいただき、個人の信仰に寄り添う寺院であることをお勧めくださいました。私たちのお寺の状況を省み、今後の寺院活動のあり方を模索するきっかけとなる研修会でありました。



札幌組第18期れんげん再開

2020（令和2）年2月以来、コロナ禍により休止していた「札幌組第18期れんげん」。令和5年5月に新型コロナウイルスが5類感染症に移行されたことから、受講者や門徒推進員の皆さんとも協議し、11月から再開しました。3年以上の間、休止していたこともあり、皆さん引き続き受講してくれるか心配もありましたが、新たな受講者6名を加えた計15名でリスタートすることができました。これまで札幌別院を会場に、11月5日に第1回、11月26日に第2回、12月17日に第3回と開催してきましたが、話し合い法座では皆さん自分の思いや体験などを積極的に語り、大変良い雰囲気の中を進めることができます。今後、受講者の皆さんが全12回のれんげんを終え、中央教修も受講して門徒推進員になってもらえるようスタッフ一同努めてまいります。



札幌組 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念慶讃イベント 「お寺DEフェスタ! しんらんSummer」

実行副委員長 海野 祐爾

令和5年7月22日(土)、当日は天候に恵まれ、大勢の方々にお越しいただき、イベントを盛況のうちに終わることが出来ました。

当イベントは、札幌組の親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念慶讃イベントとして、普段よりお寺と縁のある方はもとより、お寺と縁のない方にも身近に感じてもらうためのきっかけづくりを目的に開催いたしました。構想段階から様々なアイデアが出る中、自分達が楽しみながら、来場下さる方にもお寺を楽しんでもらう、ということを中心にしながら準備を進めて参りました。最終的にはその思いが大勢の方々に通じ、小さいお子様から、ご高齢の方々まで、ご来場下さった皆様にお寺を楽しんでいただけたのだと思っております。

会場をお貸しいただき、当日はもとより準備段階から多大なるご尽力をいただいた札幌別院の皆様。若い力で構想段階から素敵なアイデアやアドバイスをいただき、当日は大いに盛り上げていただいた笠原先生をはじめとする札幌龍谷高校の皆様。お盆前のご多用中にもかかわらず、ご参加いただいた組内をはじめとする各寺院の皆様。そして、開催まで約10ヶ月という短い準備期間ではありましたが、様々なアイデアを出していただき、最後までご尽力いただいた当実行委員会の皆様。皆様のお陰を持ちまして、イベントを盛大かつ無事に終わることが出来ましたこと心より感謝申し上げます。

最後に、実行副委員長として微力ながらも当イベントに関わることが出来ましたこと大変嬉しく思っております。皆様、誠にありがとうございました。

札幌組 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念慶讃イベント

お寺DEフェスタ! しんらんSummer

入場無料
お申し込み不要

2023年
7月22日(土)
11:00~20:00

会場 **本願寺札幌別院**
〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2-1

※駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。

見る
体験
聞く
食べる

お寺で楽しむ! イベント盛りだくさん!
法要参拝(献茶体験)・ミニ法話・お寺寄席(落語・切り紙・アコーディオン)・フォトスポット(お坊さんのお職業着体験・おひつぎ入浴体験)・ひとし写経・腕輪念珠づくり・緑日(札幌龍谷高校インターアクト部)・札幌龍谷高校(吹奏楽部演奏・書道部作品展示・美術部作品展示)・キッチンカー・屋台・消しゴムはんこ展示・盆おどり・抽選会 など

2023年
7月22日(土)
11:00~20:00

会場 **本願寺札幌別院**
〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目2-1

※駐車場はご利用いただけません。公共交通機関をご利用ください。

お寺DEフェスタ! しんらんSummer (催し一覧)

<p>本堂 (2F)</p> <p>第1部 13:00~ 第2部 16:00~</p> <p>法要参拝 本堂で「おつとめ」をします。結納の花ひら(奉納)をまく「撒香」の体験ができます!</p> <p>ミニ法話 お坊さんによる仏教のお話「法話」が聞けます! 法要終了後、約10分間。</p>	<p>ホール・大広間 (1F)</p> <p>腕輪念珠づくり ひとし写経 12:00~16:30</p> <p>好きな珠を選んで、自分だけのオリジナルお念珠を作ろう! お写経に写経体験! みんなで! 文字ずつ書いて、それを集めた「法話」を完成させよう! 本格的な写経もできるよ!</p>
<p>本堂 (2F) 14:00~15:30</p> <p>お寺寄席 落語・切り紙・アコーディオン</p> <p>お寺の本堂で楽しむ落語の時間です! 落語・切り紙・アコーディオンそれぞれのプロが笑って楽しいひとときを提供してくれます。どうぞご堪能ください!</p> <p>落語: 豊草亭 柳蔵さん 切り紙: キリだまストアあきさん アコーディオン: 亞麻理子さん (よりあちゅっちゃん)</p>	<p>境内 (屋外)</p> <p>吹奏楽演奏 第1部 12:00~ 第2部 17:00~</p> <p>札幌龍谷高校吹奏楽部の演奏です。生演奏の迫力をぜひ体験してください!</p>
<p>緑日・屋台</p> <p>キッチンカー 11:00~売り切れ終了</p> <p>札幌龍谷高校のインターアクト部の皆さんによる緑日、屋台、有名なキッチンカーが境内に出店します。お楽しみ気分です!</p>	<p>境内 (屋外)</p> <p>盆おどり 17:30~</p> <p>子どもから大人まで皆さんで夏の風物詩を楽しもう! もしもしたら札幌で今年一番早い盆おどりなのかも?</p>
<p>アートスペース 12:00~17:00</p> <p>書道部作品展示 美術部作品展示 消しゴムはんこ展</p> <p>札幌龍谷高校の書道部、美術部の皆さんによる作品や、消しゴムはんこで仏教の図柄を題材にした作品などを展示するアートスペースです。</p>	<p>ホール・大広間 (1F)</p> <p>フォトスポット 12:00~17:00</p> <p>入浴体験 お装束着用</p> <p>亡くなった時に入る(おひつぎ)を体験! 記念撮影できます。 あなたもお坊さんの姿になってみませんか? 記念撮影できます。</p>
<p>イベント最中</p> <p>本日は、浄土真宗を創った親鸞聖人の誕生から850年、また、滅年は浄土真宗の開宗800年の年です。この記念すべき年にあたって、札幌近郊の浄土真宗本願寺派寺院45ヶ寺で構成される「札幌組」では、その喜びを皆さまにお届けするイベント「お寺DEフェスタ! しんらんSummer」を開催いたしました。</p>	<p>お楽しみ抽選会</p> <p>会場各所の催しを体験してスタンプを集めよう。集めたら抽選会場へGO!</p>

このイベントは、多くの皆さんとご一緒にお仏に参りました喜びを、若い人やこれまで仏教や浄土真宗の教義にあまり馴染みなかった方々にも、このご縁に出逢っていただくことを願って企画されるイベントです。どんなにでもご参加いただけるイベントとなっています。どうぞお楽しみ合わせのうえご参加ください。
※イベント参加者の皆様にはお盆前中絶賛価格にてお安くさせていただきます。

開催 2023年7月22日(土) 11:00~20:00 / 会場 本願寺札幌別院



札幌龍谷高校の皆さん



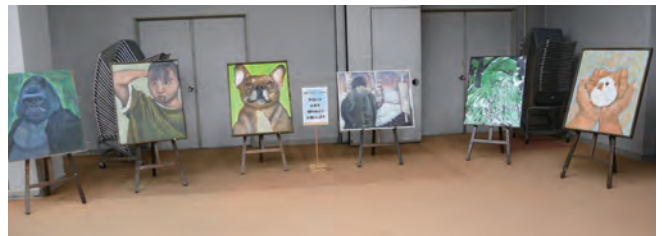
吹奏楽部

コロナで演奏する機会があまりない中演奏させていただきとても有難かったです。演奏以外でも屋台や縁日などで楽しませていただきました。この度は演奏をする機会を与えていただき本当にありがとうございました！



書道部

合宿で長時間、字を書くことには慣れていたので、漢字を一字だけ延々と書くというお手伝いは新鮮でとても楽しかったです。機会があればまたお手伝いしたいです。



美術部

イベントに作品を展示してもらいありがとうございました。また機会があればよろしくお願ひします。



インターアクト部

縁日をお手伝いさせてもらいました。当日までよくわからない状態でしたがあんなにたくさんの方が来るとは思っていませんでした。忙しかったですがとても充実した日になったと思います。



生徒会

企画段階から参加させていただき、2週連続で学園祭をする気分でした。来場者も多く、とてもやりがいのある活動ができたと思います。貴重な経験をいっぱいさせていただき本当にありがとうございました。このような機会があれば、是非とも企画段階からまた参加させていただきたいです。







札幌組 親鸞聖人御生誕850年

立教開宗800年慶讃法要厳修

令和5年11月22日（水）本願寺札幌別院を会場に上記法要を厳修いたしました。法要当日は、午前中の帰敬式では167人の方が受式され、法名を拝受するご縁を頂戴しました。

午後からは、法要前のオープニングに札幌龍谷学園高等学校ダンス部の演舞で始まり御導師は 本願寺名誉侍真 近松照俊師（大阪府八尾市顕証寺前住職）にお勤めいただきました。また東北教区相馬組よりお越し頂いた組長様ご夫妻、副組長様ご夫妻にもご出勤賜り、他組からも楽人のお手伝い、組内各寺合唱団の皆様のご協力、また、参詣の皆様や、龍谷高等学校ダンス部員と共に散華を一同に行い、本堂にたくさんのカラフルな華葩が舞い上がり床一面に敷き詰められた荘厳な光景はまさに宗祖親鸞聖人の御生誕850年立教開宗800年をお祝いするご法要となりました。

法要終了後、清岡隆文師（大阪府吹田市大光寺前住職）に記念法話をいただきました。

この度のお勤めは、本願寺にて制定されました、新制御本典作法を依用するため、8月より11月の法要まで6回連続でお勤め研修会を行い練習を重ねました。

前日より、法要準備・終了後の撤収には会場となりました本願寺札幌別院の職員の皆様には本当にご苦勞をおかけいたしました。

計画から法要当日まで期間が短い中、多くの方のご協力を賜り、法要が円成いたしました。

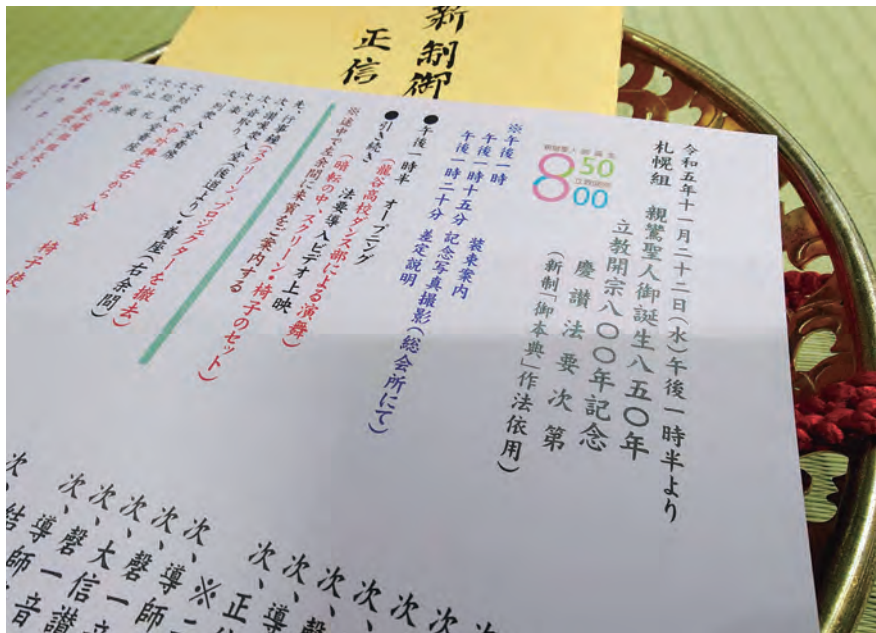


ダンス部

最初はよくわからないイベントに参加するという感じでしたが、最後にお手伝いした紙でできた花びらを上からまいたのがとても楽しかったしとてもキレイでした！いまでは参加してよかったと思っています。ありがとうございました。







札幌組寺問検・伝道企画部 合同 各寺院で編集・印刷可能な「葬儀のリーフレット」を作成

令和5年度の伝道企画部では、札幌組寺問検と合同にて葬儀に関する伝道素材を企画し、リーフレットの作成を行いました。

このリーフレットは、かねてより「葬儀のしおり」として伝道企画部で販売されていたものをリニューアルしたものです。この度の企画では、USBメモリにて印刷の元データを配布する事で、各寺院が必要数を印刷できる仕様といたしました。内容は、数種類のページを準備していますので、必要な項目を選択できるようになっています。また、それぞれWordデータの配布をしていますので、各寺院でお好きな内容に編集することが可能となっています。

近年は、葬儀に関する情勢の変化が著しい世相となりました。しかし、葬儀のご縁こそ、今も昔も変わらぬ浄土真宗の伝道教化の第一線であると思います。葬儀のご縁には、是非ともこの度のリーフレットをご活用くださいませ。



おくやみ

令和5年4月～令和6年3月にご往生

寶流寺 第三世住職 遊法院釋薰心 柴田 薰心 様

令和5年9月19日 ご往生 行年89歳

清勝寺 第三世坊守 清泉院釋尼芳和 岡 芳子 様

令和5年12月14日 ご往生 行年87歳

高恩寺 第三世坊守 寿響院釋徳浄 増田 喜世子 様

令和6年2月29日 ご往生 行年83歳

生前は札幌組のご法義発展に大変なご協力を下さいました。ご尽力に感謝申し上げます。 合掌

住職継職法要のご報告

真照寺 松本 昇陽 様 令和5年5月20日

第四世住職継職奉告法要 巖修

大念寺 久朗津 泰秀 様 令和5年6月3日

第三世住職継職奉告法要 巖修

編集後記 本号は、「しんらん summer」並びに「札幌組 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年記念慶讃法要」を開催し、札幌組の皆様が一丸となって取り組んだ報告を掲載することができました。「後世に受け継ぐ基盤作り」を重点項目としていた4年間の任期の集大成となるイベントを通して、札幌組の更なる躍進を目指します。今後ともご理解とご協力を賜りたく存じ上げます。